

期間  約定日  受渡日

2026/04/30 から 2026/04/30

今日 今週 今月 今年

照会

商品	実現損益(税引前)	利益金額	損失金額
国内株式(信用) >	-194,020円	174,890円	-368,910円
合計	-194,020円	174,890円	-368,910円

2026.4.30 地合い



キオクシアで寄り付近の環境認識を誤ってしまった。自分のトレンドラインを信じられず、上昇トレンド中なのにもかかわらず、寄り天になると想定して売り目線で踏みあげられた。最初のトレンド方向を勝手に想像してしまうと、トレンドライン上ではチャンスなのに、逆目線でエントリーできず、目線転換するまで逆の取引きとなってしまい、細かい損切して、利益を伸ばすというスタイルが機能しなくなってしまう。なぜなら、目線が逆だから、利確したい方向に値幅がでず細かい損切しか積み重ならないためだ。寄り天だと思っても、トレンドライン上で想定と逆のトレンドを示しているのならば、目線を修正しなければならない。環境認識はトレンドラインや指数と銘柄毎の材料（今日であればキオクシアはサンディスク決算の期待上げ加味）で確認して決めること。何となくGUで落ちてきそうだからと寄り天想定をしないことを学んだ。また、細かい損切の方が多ければ、そっちを細かく取りに行って（買い・売りと利確・損切を逆にして）、値幅が取れそうな所は、損切ラインを広めにして値幅とるみたいに修正した方が良く考えた。結局相場次第で微調整が必要だから一概には言えないが...

とにかくこの取引は簡単には習得できない。10円刻みのキオクシアで練習したら資金がいくらあっても足りない。夢中で取引きして、結構損切目立つしやばそうだなと14時にみてもみたら、19万マイナスだったから、10万ルールも超えててやばいなと思った。リスクワードをなるべく揃えるために、1円刻みを最低300株で取引きしていたが、うまく取引きできるまで1円刻みの銘柄100株だけで練習した方がよさそう。運で爆益を取るより、確実に実力でとれるようになりたい。そのためなら、1日の損益が数千円でも構わない。身の程をわきまえる。自分は下手なのだから